

3 実技講座の開催

	講座名	期日	講師	受講者数
実技講座	(油絵教室) 人物を描く	5/15～ 6/12	深沢軍治 (画家)	13名
	(彫塑教室) F・R・Pによる 浮かぶ彫刻	9/3～ 9/18	渡辺豊重 (造形作家)	8名
	(版画教室) リトグラフの技法 と表現	11/12～ 11/27	若生秀二 (版画家)	15名
	(デッサン教室) 人物のデッサン	1/29～ 2/26	北折整 (東北生活文化 大学講師)	17名
技法講座	(パステル画) 花を描く	6/25～ 6/26	山本文彦 (筑波大学教授)	15名
	(テンペラ画) テンペラ画の技法	8/20～ 8/21	田口安男 (東京芸術大学 教授)	15名
	(水墨画) 水墨画の技法	10/1～ 10/2	磯野裕子 (画家)	15名
親子美術教室	(素材と遊ぶ①) ダンボール遊具を つくろう	4/24	榎山永次 (クラフトデザ イナー)	14組 36名
	(素材と遊ぶ②) やきもので土面を つくろう	7/9	日下部正和 (安積高校教諭)	12組 30名
	(素材と遊ぶ③) 木の枝でつくるふ しぎなかたち	12/10	加茂博 (造形作家)	11組 26名
夏休み子ども美術教室	(びっぐ・あーと①) どろんこ・あーと	7/3	高澤俊郎 (学芸員)	26名
	(びっぐ・あーと②) どりっぴんぐーI	7/27	高澤俊郎 (学芸員)	17名
	(びっぐ・あーと③) どりっぴんぐーII	8/9	高澤俊郎 (学芸員)	10名

合計：243名

4 美術鑑賞講座の開催

講義室において13:30から2時間程度(聴講自由)

講座名	期日	担当学芸員	聴講者数
① フィレンツェ派の巨匠たち	5月7日	早川 博明	30名
② ヴェネツィア派絵画の黄金時代	5月21日	〃	30名
③ 三大巨匠の芸術	6月4日	吉村 有子	25名
④ ドイツ、ネーデルラントの巨匠たち	6月18日	〃	20名
⑤ 桂離宮－神秘のありか－	10月8日	堀 宜雄	33名
⑥ 江戸の博物図譜 －ミクロの視線－	10月22日	荒木 康子	12名
⑦ 近代日本の風景－画家の眼－	2月11日	宮武 弘	15名
⑧ 日本画家の外国旅行	2月25日	増淵 鏡子	15名

合計：180名

5 ギャラリー・トーク

企画展示室において会期中の2回、1時間程度(聴講自由)

展覧会名	期日	担当学芸員	聴講者数
① ルオー版画展	4/30・5/7	久慈・宮武	25名
② 河井寛次郎展	6/10・25	堀・佐治	50名
③ ルネサンスの絵画	7/29・8/13	早川・吉村	70名
④ 日本画の風景	9/17・30	宮武・増淵	30名
⑤ ニューヨーク・リアリズム	11/11・26	早川・高澤	20名
⑥ 高橋由一展	1/20・2/4	荒木・伊藤	70名

合計：265名

6 美術館への年賀状展の開催

親しまれる美術館づくりの一環として開催しているこの年賀状展は、10回目となった。県内の小・中学校から手づくりの楽しい年賀状を募集し、エントランスホールに展示した。子どもたちの豊かな感性と表現は、児童生徒はもとより一般の方々にも好評を博している。

なお、作品は無鑑査とし賞の授与等は行わず、寄せられたものすべてを展示した。

会期 1月10日(火)～31日(火) 全作品 344点展示

7 館内解説

(1) 団体解説

学校教育や公民館等の社会教育活動の活発化に伴って、団体で美術館を訪れる機会も増えてきている。そのほとんどが館内の案内を要望するため、学芸員が輪番制で対応している。内容は、当館の概要および代表的な収蔵作品、常設展ならびに企画展について大まかな説明が中心である。

(2) 質問電話への対応

当館では、展示室の各所に「質問電話」を設置し、観覧者の展示品や美術全般についての質問に答えている。質問電話の使用は簡単に学芸室と直結しているため、観覧者の利用は多く、素早い対応が可能である。

8 映像資料

(1) 映像資料点数

(平成7年3月31日現在)

自主制作ビデオテープ	34本
購入・受贈ビデオテープ	62本
購入・受贈スライド・フィルム	11セット
16mm映画フィルム	4本